



FIBER

The Society of Fiber Science and Technology, Japan

繊維学会誌

||| 繊維と工業 ||| Reviews and News

||| 報 文 ||| Original Articles

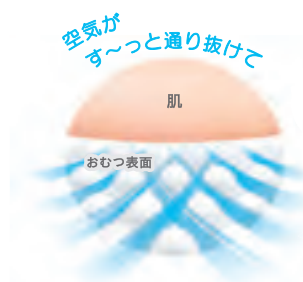


ママと赤ちゃんに愛されて

30周年 Merries メリーズ



赤ちゃんの笑顔は、
「心も肌も気持ちいいよ!」というメッセージ。
「通気性」へのこだわりは進化を続け、
いま、メリーズだけの《さらさらエアスルー》へ。



いや〜なムレを逃がす



メリーズはテープタイプで
もっとも選ばれています。

※インテージSR1調べ ベビー用紙おむつ市場
テープタイプ内ブランド別金額・個数シェア
7年連続No.1 (2006年10月〜2013年9月)



新生児 S M L

赤ちゃんが笑うと、みんなが笑顔に。そんな幸せを、これからもお届けします。

その笑顔のために。
肌へのやさしさにこだわって30年。

HOKUTO PRINT CO.,LTD.
TOTAL PLANNER - FROM DESIGN TO PUBLISHING

**企画・デザイン・印刷・製本から
Webサイト製作まであらゆるメディアに精通し
お客様のニーズに迅速にお応えいたします**



株式会社 北斗プリント社

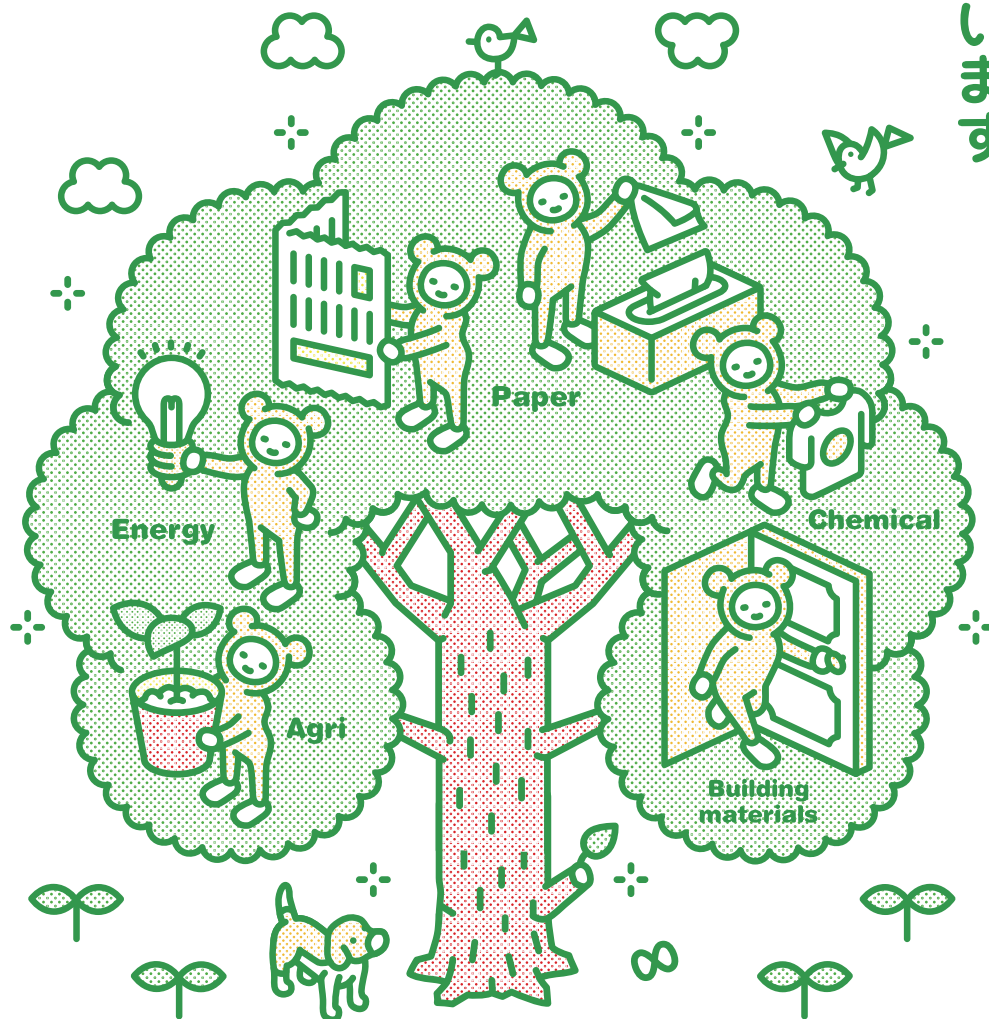


〒606-8540 京都市左京区下鴨高木町38-2
Tel:075-791-6125 Fax:075-791-7290
URL <http://www.hokuto-p.co.jp>

I'm !

木の可能性—日本製紙のモノづくり。

紙だけではありません。
暮らしのあちこちで、
木を活かしています。



私たちは紙だけでなく、木材・製材品や合板、レーヨン原料、食品・化粧品に使われる添加物など、暮らしを支える様々なものを生み出しています。近年では、紙づくりで培ってきた技術を活かし木から電気をつくるなど、新たな可能性を追求しています。

中でも、木の繊維をナノレベルまでに解きほぐしたセルロースナノファイバーは、世界最先端のバイオマスナノ素材です。日本製紙は、木を無駄なく活用する高度な技術力で、持続可能な社会の構築に貢献していきます。



日本製紙株式会社

東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティ 〒101-0062 TEL.03-6665-1111
www.nipponpapergroup.com

NIPPONPAPER
日本製紙のニボバです。

熔融紡糸の原点

「Nylon」新紡糸技術の誕生と足跡

● 著 者：小 野 輝 道

(元 東レ(株) 専務取締役 技術センター所長)

● 発 行：株式会社 繊維社 企画出版
https://www.sen-i.co.jp

● A5判 160ページ カバー巻き

● 販 価 2,900円

(本体2,500円+税200円+送料200円)

繊維学会誌 連載記事を単行本化！！

鞠谷 雄士 先生「発刊に寄せて」より

(一般社団法人 繊維学会 会長)

……『熔融紡糸の原点』と題する本書は、この合成繊維を熔融紡糸して繊維化する技術の開発経緯を克明に論じたものであり、1930年代の米国におけるDuPont社によるナイロン66繊維「nylon」の開発(第1章)、これを追う形で行われたドイツにおけるI.G.社によるナイロン6繊維「Perlon」の開発(第2章)、そして終戦直後の日本における東レによるナイロン6繊維「Amilan」の開発と事業化(第3章)から構成されている。

著者の小野輝道氏は1949年に東レに入社され、その後20年間、ナイロン6の開発に携わられた。本書は、熔融紡糸による繊維製造技術開発の歴史を紐解くところに主眼が置かれているが、現場を隅から隅まで知り尽くした者だけが把握することのできる技術の細部が、原特許の図面、豊富な写真資料などとともに記述されており、長年、熔融紡糸を自身の研究テーマとしている私にとっては、その内容の迫力に圧倒される思いである。そして、資料集めの経緯・苦労話から、貴重な情報が国内のみならず国際的な人と人とのつながりにより同氏の元に集約されたことを知り、大いに感服した次第である。……

……本書は、少しでも熔融紡糸技術に係わったことのある方にとって必携の書であることはいまでもないが、繊維に係わりのある方、繊維材料に興味を持たれている方、さらには、技術的な詳細はともかく合成繊維の開発・工業化という歴史的偉業がどのような経緯でなされたかに関心がある方にとっても、本当におもしろい本であると太鼓判を押すことができる。

本書の内容

・「熔融紡糸の原点」発刊に寄せて

……………鞠谷 雄士

(一般社団法人 繊維学会 会長)

はじめに

第1章 DuPont社 (U.S.A)

- 1.1 DuPont社のFundamental ResearchとW.H.Carothers
- 1.2 Carothers、DuPont社へ入社
- 1.3 Serendipity
- 1.4 Polyamideへの挑戦
- 1.5 Nylon糸の開発へ

1.5.1 序

1.5.2 開発の経過

- (1) 中間体
- (2) Polymer
- (3) 製 糸
 - 1) 実施例1からの抜粋
 - 2) N₂ガスのO₂含量 (content)
 - 3) #2 spinner
 - 4) Sand Filter
 - 5) Fiber WとBristle
 - 6) ローソク紡糸機
 - 7) Glass Melter
 - 8) 用途開発とPilot Plant
 - 9) Flat Coil Melt Gridの登場
 - 10) Steam Conditioner

1.5.3 ヴェールを脱ぐNylon

補 遺

- (1) Nylon yarn “A” Bonus
(1941年6月11日、C. H. Greenewalt)について
- (2) ポンプと口金
- (3) Nylon Yarn開発Project発足
(1935年央)以後のW. H. Carothers

1.6 結 び

第2章 「Perlon」の開発

(ドイツのpolyamide繊維)

2.1 「Perlon」の誕生

2.1.1 序

2.1.2 Nylonの誕生と「Perlon」のcatch up

2.1.3 VK法の誕生とMO処理

2.2 ドイツにおけるNylon繊維事業

2.3 総 括

補 遺

第3章 「Amilan」の開発

(日本のpolyamide繊維)

3.1 序

3.2 戦時中のNylon研究

3.3 戦後のNylon開発の再開

3.4 Nylon繊維生産の開始

(滋賀第3工場)

(1) 紡糸機

(2) MO抽出

(3) 延 伸

3.5 新工場の建設へ

3.6 愛知工場の生産プロセス(1951~1959)

3.6.1 紡 糸

(1) 原料チップ

(2) 紡糸用チップ (高周波乾燥)

(3) 紡糸機

3.6.2 水 洗

3.6.3 延伸以降

補 遺

(1) 統計的手法

(2) 測定技術

(特徴のあるものをピックアップ)

(3) nylonの潜在能力の発掘

(4) その他

後 記

おわりに

索 引

HP

リニューアル

繊維技術データベース開始しました！！

迅速・安価 — 入門・教育用に、新商品・新技術開発にご活用下さい。



● お申し込みは — 電話 / HP / E-mail で
株式会社 繊維社 企画出版

〒541-0056

大阪市中央区久太郎町1-9-29 (東本町ビル5F)

Tel. (06) 6251-3973 Fax. (06) 6263-1899

E-mail: info@sen-i.co.jp https://www.sen-i.co.jp

繊維学会誌

平成 27 年 12 月 第 71 巻 第 12 号 通巻 第 837 号

目 次

繊維と工業(Reviews and News)

【時 評】	スマート社会の実現と先端繊維	上田 英志 ...	P-597
【解 説】	生活文化論考－比較文化の立場から－	羽賀 敏雄 ...	P-598
	伸縮電線の特長と用途	巽 俊二 ...	P-605
	放射光を用いた DDS ナノ粒子の構造解析	福田 一輝・櫻井 和朗 ...	P-609
【連 載】	〈業界マイスターに学ばせんの基礎講座－15〉		
	第 6 編 染色加工	嶋田幸二郎・今田 邦彦 ...	P-612
【繊維学会創立70周年記念連載】	〈技術が支えた日本の繊維産業－生産・販売・商品開発の歩み－27〉		
	染色加工業の盛衰(6)	松下 義弘 ...	P-622
【レポート】	平成 27 年度秋季研究発表会報告	浦川 宏 ...	P-634
	第 54 回ドルンビルン国際化合繊会議の報告	塩谷 隆 ...	P-637
	若手交流セミナー参加記	奥村 航 ...	P-643
	東京工業大学繊維工学科創立 60 周年記念会	橋本 寿正 ...	P-645
【海外ニュースレター】			P-647

報 文(Original Articles)

【一般報文】	ウッドプラスチック複合材料の疲労破壊特性		
		M. N. A. Nordin・榎野 裕太・合田 公一・伊藤 弘和 ...	339
	組物複合材料構造部材における内部構造パラメータと断面形状の関係		
		大谷 章夫・柿田 恭良・今村 勝・仲井 朝美 ...	345

Journal of The Society of Fiber Science and Technology, Japan

Vol. 71, No. 12 (December 2015)

Contents

[Reviews and News]

〈Foreword〉

Realization of New Society Based on IoT and Advanced Fiber Materials Hideshi UEDA ... P-597

〈Review〉

Thinking about Life Culture – From a Standpoint of Comparative Culture –
..... Toshio HAGA ... P-598

The Features & Applications of the Elastic Electrical Wire Shunji TATSUMI ... P-605

Structure Analysis of DDS Nanoparticles by Synchrotron Radiation
..... Ichiki FUKUDA and Kazuo SAKURAI ... P-609

〈Series on Fiber Basic Course Lectured by Professional Engineers-15〉

Dyeing and Finishing Kojiro SHIMADA and Kunihiko IMADA ... P-612

〈Series of Historical Reviews of Japanese Textile Industry Supported by the Technology

– History of the Production, Sales, and Product Development-27〉

Rise and Fall of Textile Dyeing Processing Industries (6) Yoshihiro MATSUSHITA ... P-622

〈Report〉

Report of the Autumn Meeting 2015 in Kyoto Hiroshi URAKAWA ... P-634

54th Dornbirn Man-Made Fibers Congress, Austria – Topics – Takashi SHIOTANI ... P-637

Report of Young Researchers Seminar Wataru OKUMURA ... P-643

60th Anniversary of Department of Textile Engineering, Tokyo Institute of Technology
..... Toshimasa HASHIMOTO ... P-645

〈Foreign News Letter〉 P-647

[Original Articles]

〈Transactions〉

Fatigue Fracture Properties of Wood Plastic Composites
..... M. N. A. NORDIN, Yuta MAKINO, Koichi GODA, and Hirokazu ITO ... 339

Relationship between Internal Structural Parameters and Cross-Sectional Geometry
for Designing Braided Composite Structure
..... Akio OHTANI, Yasuyoshi KAKITA, Masaru IMAMURA, and Asami NAKAI ... 345

Sen'i Gakkaishi

(Journal of The Society of Fiber Science and Technology, Japan)

Vol.71 No.12

December 2015

CONTENTS OF ORIGINAL ARTICLES EDITION

【Transactions】

Fatigue Fracture Properties of Wood Plastic Composites

..... M. N. A. Nordin, Yuta Makino, Koichi Goda, and Hirokazu Ito ... 339

Relationship between Internal Structural Parameters and Cross-Sectional Geometry

for Designing Braided Composite Structure

..... Akio Ohtani, Yasuyoshi Kakita, Masaru Imamura, and Asami Nakai ... 345

Published by

Sen'i Gakkai (The Society of Fiber Science and Technology, Japan)

3-3-9-208, Kami-osaki, Shinagawa-ku, Tokyo 141-0021, Japan

繊維学会誌「報文」活性化と正確な引用文献表記をお願い致します — 繊維学会誌引用の際は“Sen’i Gakkaishi”と表記してください —

繊維学会誌では論文誌としての価値を高めて、より一層会員の皆様、投稿者の皆様に貢献したいと考えております。

これまで以上に積極的な御投稿をお願い申し上げますとともに、本誌を含め各種学術雑誌に研究成果を御発表されます場合には、繊維学会誌の積極的な引用についても併せてお願い申し上げます。

特に引用を頂く際には、誌名の正確な綴りにもご留意いただきますようお願いいたします。現在の繊維学会誌「報文」は、“Sen’i Gakkaishi”(n と i の間はアポストロフィでハイフンではありません)の表記をお使いいただきますようお願いいたします。

投稿時の体裁変更のお知らせ

これまで、投稿していただく際にカメラレディー形式に整えていただくことをお願いして参りましたが、今般印刷システムの見直しにより、カメラレディー形式での投稿は必須ではなくなりました。

テキストデータ、図表データを別々のファイルでご用意いただき、図表の差し込み位置が分かるように本文中に示していただければ、バタ打ちで投稿いただけます。図、写真は jpeg 形式で、表はテキスト情報が抽出可能な word 等で作成してください。その際本文は A4 判に 10.5 から 12 ポイントのサイズで、改行幅は 1.5 行程度に設定してください。

また、図表のレイアウトや大きさなど著者の体裁上のご希望を予めお伝えいただけ、ページ数の見積もりも可能なため、これまで同様カメラレディー形式に整えていただいても結構です。カメラレディーひな形はホームページからダウンロードしていただけます。

投稿の際の負担を軽減することで、より迅速快適に研究成果をご発表いただけるようになりました。今後とも繊維学会誌への積極的なご投稿をお待ちしております。

「報 文」編集委員 Sen’i Gakkaishi, Editorial Board

編集委員長 Editor in Chief	髪 谷 要(和洋女子大学大学院) Kaname Katsuraya	編集副委員長 Vice-Editor	塩 谷 正 俊(東京工業大学大学院) Masatoshi Shioya
編集委員 Associate Editors	上高原 浩(京都大学大学院) Hiroshi Kamitakahara	河 原 豊(群馬大学大学院) Yutaka Kawahara	木 村 邦 生(岡山大学大学院) Kunio Kimura
	久保野 敦 史(静岡大学) Atsushi Kubono	澤 渡 千 枝(静岡大学) Chie Sawatari	鋤 柄 佐千子(京都工業繊維大学大学院) Sachiko Sukigara
	高 寺 政 行(信州大学) Masayuki Takatera	武 野 明 義(岐阜大学) Akiyoshi Takeno	趙 顯 或(釜山大学校) Hyun Hok Cho
	登 阪 雅 聡(京都大学) Masatoshi Tosaka	久 田 研 次(福井大学大学院) Kenji Hisada	菅 井 清 美(新潟県立大学) Kiyomi Sugai
	山 根 秀 樹(京都工業繊維大学大学院) Hideki Yamane	吉 水 広 明(名古屋工業大学大学院) Hiroaki Yoshimizu	

The Society of Fiber Science and Technology, Japan (2014 & 2015)

President T. Kikutani (Tokyo Institute of Technology)

Vice-Presidents T. Kanaya (Kyoto University)

K. Hamada (Shinshu University)

H. Murase (Toyobo Co., Ltd.)

Member-promoting Officer M. Tokita (Tokyo Institute of Technology)

Editor in Chief “Sen’i to Kogyo” A. Tsuchida (Gifu University)

Editor in Chief “Sen’i Gakkaishi” K. Katsuraya (Wayo Women’s University)

Treasurers H. Oikawa (Tohoku University)

K. Ogino (Tokyo University of Agriculture & Technology)

K. Inomata (Nagoya Institute of Technology)

K. Hisada (University of Fukui)

H. Urakawa (Kyoto Institute of Technology)

K. Tanaka (Kyushu University)

Planning Officers T. Iwata (The University of Tokyo)

M. Aoyama (Toray Industries, Inc)

K. Katsuraya (Wayo Women’s University)

A. Tsuchida (Gifu University)

K. Ogino (Tokyo University of Agriculture & Technology)



会 告

2015

Vol. 71, No. 12 (December 2015)

開催年月日	講演会・討論会等開催名(開催地)	掲載頁
28. 1. 14(木)	繊維学会西部支部 講演会・見学会(熊本市・(講演会)熊本大学、(見学会)くまもと有機薄膜技術高度化支援センター)	A7
1. 20(水)	第221回ゴム技術シンポジウム トライボロジーのフロンティア I (大阪市・大阪科学技術センター)	A7
1. 22(金)	第51回CPD(繊維技術)講演会(大阪市・大阪産業創造館)	A7
1. 23(土) 30(土)	平成27年度「アパレル製品の基礎知識」講座(大阪市・大阪産業創造館)	A7
2. 3(水)	第222回ゴム技術シンポジウム 劣化メカニズム解析と長寿命化のための手法(東京都・東京電業会館)	A7
2. 10(水)	第12回紙メディアシンポジウム「紙メディアの本質と価値と進化」(東京都・日本印刷会館)	A8
2. 12(金)	第152回講演会 建材用高分子材料の開発動向と最新技術(東京都・東京都立産業技術研究センター本部 東京イノベーションハブ)	A8
2. 17(水)	色材マテリアル講座-バイオベースマテリアルの明日はどちらだ- (大阪市・ドーンセンター特別会議室)	A8
2. 18(木) 19(金)	第20回省エネルギーセミナー「2030年温室効果ガス削減目標にむけて」(東京都・タワーホール船堀)	A8
2. 26(金)	第223回ゴム技術シンポジウム ゴムの衛生問題における基礎と応用(東京都・東部ビル)	A8
6. 8(水) ~10(金)	平成28年度繊維学会年次大会 研究発表会・ポスター 発表募集(東京都・タワーホール船堀)	A4~5
	繊維学会誌広告掲載募集要領・広告掲載申込書	平成22年6月号
	繊維学会定款(平成24年4月1日改訂)	平成24年3月号
	Individual Membership Application Form	平成24年12月号
	繊維学会誌報文投稿規定(平成24年1月1日改訂)	平成26年1月号
	訂正・変更届用紙	平成26年3月号

「繊維と工業」編集委員

編集委員長 土田 亮(岐阜大学)

編集副委員長 髪谷 要(和洋女子大院) 出口 潤子(旭化成せんい(株))

編集委員 植野 彰文(KBセーレン(株)) 大島 直久(東海染工(株)) 金 翼水(信州大学) 小寺 芳伸(三菱レイヨン(株))

澤田 和也(大阪成蹊短期大学) 高崎 緑(京都工芸繊維大院) 田村 篤男(帝人(株)) 寺本 喜彦(東洋紡(株))

西田 幸次(京都大学化学研究所) 西村 高明(王子ホールディングス(株)) 増田 正人(東レ(株)) 村上 泰(信州大学)

吉田 耕二(ユニチカトレーディング(株))

顧問 浦川 宏(京都工芸繊維大院)

平成27年度繊維学会主要行事予定

行 事 名	開 催 日	開 催 場 所
2016 学術ミキサー	平成28年 1 月22日(金)	東大セイホクギャラリー (繊維関連 3 学会共催)
平成 27 年度 繊維技術講座	平成28年 2 月19日(金)	東工大蔵前会館 (ロイヤルブルーホール)

平成28年度繊維学会主要行事予定

行 事 名	開 催 日	開 催 場 所
平成 28 年度 総会・年次大会	平成28年 6 月 8 日(木)～6 月10日(金)	タワーホール船堀(東京都江戸川区船堀)
第 46 回夏季セミナー	平成28年 7 月19日(火)～21日(木)	福井市
平成 28 年度 秋季研究発表会	平成28年 9 月20日(火)、21日(水)	山形大学工学部(米沢市)

研究委員会一覧(平成27年 4 月 1 日現在)

研究委員会名	委員長名	所 在 地	TEL & E-mail
繊維基礎科学	櫻井 伸一	〒606-8585 京都府京都市左京区松ヶ崎御所海道町 京都工芸繊維大学 大学院工芸科学研究科 繊維学系	075-724-7864 shin@kit.jp
染 色	安永 秀計	〒606-8585 京都府京都市左京区松ヶ崎御所海道町 京都工芸繊維大学 大学院工芸科学研究科 繊維学系	075-724-7562 yasunaga@kit.ac.jp
繊維加工	増子 富美	〒112-8681 東京都文京区目白台 2-8-1 日本女子大学 家政学部 被服学科	03-5981-3481 fumimasuko@fc.jwu.ac.jp
感覚と計測	西松 豊典	〒386-8567 長野県上田市常田 3-15-1 信州大学 繊維学部 先進繊維工学課程	0268-21-5379 toyo@shinshu-u.ac.jp
被服科学	平井 郁子	〒102-8357 東京都千代田区三番町 12 大妻女子大学短期大学部	03-5275-6022 i-hirai@otsuma.ac.jp
紙・パルプ	江前 敏晴	〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1 筑波大学 生命環境系生物材料工学分野	029-853-4646 t@enomae.com
オプティックスとエレクトロニクス有機材料	渡辺 敏行	〒184-8588 東京都小金井市中町 2-24-16 東京農工大学大学院工学研究院工学府応用科学専攻	042-388-7289 toshi@cc.tuat.ac.jp
先端繊維素材	村瀬 浩貴	〒520-0292 滋賀県大津市堅田 2-1-1 東洋紡株式会社 総合研究所 コーポレート研究所	077-571-0035 hiroki_murase@toyobo.jp
感性フォーラム	徳山 孝子	〒657-0015 兵庫県神戸市灘区篠原伯母野山町1-2-1 神戸松蔭女子学院大学 ファッション・ハウジングデザイン学科	078-882-8789 tokuyama@shoin.ac.jp
超臨界流体	奥林 里子	〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎御所海道町 京都工芸繊維大学 大学院工芸科学研究科 繊維学系	075-724-7367 okubay@kit.ac.jp
ナノファイバー技術戦略	松本 英俊	〒152-8552 東京都目黒区大岡山 2-12-1-S8-27 東京工業大学大学院 理工学研究科	03-5734-3640 matsumoto.h.ac@m.titech.ac.jp
若 手	宝田 亘	〒152-8552 東京都目黒区大岡山 2-12-1-S8-32 東京工業大学大学院 理工学研究科	03-5734-3658 takarada.w.aa@titech.ac.jp

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、公益法人日本複製権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の方でない限り、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル
(一社)学術著作権協会

TEL : 03-3475-5618、FAX : 03-3475-5619

E-mail : info@jaacc.jp

著作物の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、直接本会へご連絡ください。

アメリカ合衆国における複写については、次に連絡してください。

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA

Phone : 1-978-750-8400 FAX : 1-978-646-8600

繊維学会の学会誌刷新のご案内

繊維学会会長 鞠谷雄士

繊維学会会員の皆様には、日頃より繊維学会ならびに繊維学会誌へのご高配を賜り厚く御礼申し上げます。2015年6月の繊維学会平成27年度通常総会でご報告の通り、繊維学会では創立70周年記念事業の一環として学会誌の改革を進めており、2016年(平成28年)1月号から内容の一層の充実と迅速な公開を目指して、下記の通り学会誌が刷新されます。

□「機関誌」からのご案内

【誌名】

繊維学会誌「繊維と工業」(Sen'i To Kogyo)から、「繊維学会誌」(Sen'i Gakkaishi(英訳、Journal of The Society of Fiber Science and Technology, Japan))に名称を変更し、引き続き冊子体として発行します。

【刷新内容】

- ・表紙を、新しい繊維学会誌にふさわしいものに変更します。
- ・新たに分離独立しオンラインジャーナル化する繊維学会の論文誌 Journal of Fiber Science and Technology (JFST)に掲載される全ての論文の目次と抄録が、発行と同じ月に掲載されます。
- ・記事のレイアウトも、読みやすさを重視して新しいデザインに変更します。
- ・若手会員からの御寄稿を重視して、より多く掲載します。
- ・読者のニーズに合わせた、タイムリーな記事内容を掲載するよう努力します。

リニューアルした「繊維学会誌」に、今後ともより一層の御支援・御鞭撻をお願い申し上げます。

□「論文誌」からのご案内

これまでの「報文」のご投稿に際して、以下の通り大幅な変更がありますので、ご留意頂きますようお願い致します。投稿者と読者それぞれにとり、これまで以上に使い易く価値の高い論文誌として生まれ変わります。皆様の積極的なご投稿、ご活用をお願い申し上げます。

【誌名】

繊維学会誌「報文」から“Journal of Fiber Science and Technology”(JFST)に変わります。

【発行形態】

これまでの冊子体+オンラインジャーナルから完全なオンラインジャーナルに変わります。学会ホームページ経由または直接下記よりJ-Stageにアクセスしてご覧ください。完全なオープンアクセスになり、どなたでも認証無しでご覧頂けます。

英語：<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/fiberst>

日本語：<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/fiberst/-char/ja/>

【投稿方法】

2016年1月から原則全てweb投稿査読システムからの投稿になり、これまでのメール投稿は廃止されます。

Web投稿査読システムへは次のアドレス、または学会ホームページからアクセスしてください。

<https://mc.manuscriptcentral.com/jfst>

ただし、インターネット環境等でweb投稿が難しい場合は事務局または編集委員会までご相談ください。

web投稿査読システムは12月21日(月)から運用を開始します。開始後は新システムからご投稿頂けます。

【別刷りと掲載料】

これまで「繊維学会誌」では論文が受理され掲載された場合に別刷りをご購入頂いておりましたが、「JFST」では原則として別刷りは廃止され、著者にはオープンアクセス誌への掲載および高解像度PDFご提供のため、別途定める掲載料* (オープンアクセス料を含みます)をお支払い頂きます。

但し、経過措置として2015年12月までにご投稿頂きました論文につきましては、従来通りの「別刷りご購入」と、これから始まります「高解像度PDFご提供」からご希望の形態をお選び頂けます。また、この場合従来の価格が適用されます。

JFSTでは特に冊子体や別刷りをご希望の方に、オンデマンド印刷で対応させて頂きます。価格等につきましては事務局までお問い合わせください。

*掲載料(オープンアクセス料を含む)

レイアウト完了後7ページまで6万円。以降7千円/ページの加算(税抜き価格)。

前述の通り、これまで繊維学会誌「繊維と工業」として発刊されてきた機関誌は、2016年1月より新たに「繊維学会誌」に誌名を変更し、これまで同様冊子体で発行され、JFSTに掲載される全ての論文の目次と抄録が掲載されます。

【お問い合わせ】

学会誌の切り替えに伴うお問い合わせは、下記までお願いいたします。

野々村弘人(事務局長)

E-mail: office@fiber.or.jp 電話: 03-3441-5627

土田 亮(繊維学会誌編集委員長)

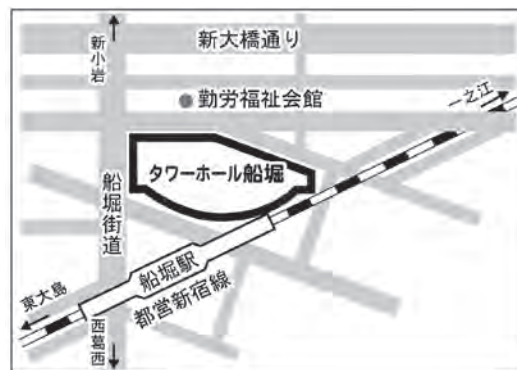
E-mail: t-akira@gifu-u.ac.jp 電話: 058-293-2620

髙谷 要(Journal of Fiber Science and Technology 編集委員長)

E-mail: katsuraya@wayo.ac.jp 電話: 047-371-2482

平成 28 年度繊維学会年次大会 研究発表会・ポスター 発表募集

1. 日 時：平成 28 年 6 月 8 日(水)～10 日(金)
2. 会 場：タワーホール船堀(江戸川区総合区民ホール)
〒134-0091 東京都江戸川区船堀 4-1-1
TEL:03-5676-2211 FAX:03-5676-2501
<http://www.towerhall.jp/>
〈交通〉都営地下鉄新宿線船堀駅下車北口徒歩 30 秒



3. 開催概要

繊維学会年次大会では、活躍する若手研究者の顕在化のために「若手優秀発表賞」を、優秀な学生を顕彰するために「若手優秀ポスター賞」を授賞しています。例年多数の一般発表に加え、依頼講演もごさいます。会員の皆様には、ご自身の最新の研究成果の発表の場、討論の場、ネットワークを広げる場に本年次大会をご活用ください。

4. 発表分野：プログラム編成にあたり、発表内容を加味して、分野変更や分野統合などを行う可能性があります。予めご了承ください。

- [1. 繊維・高分子材料の創製] 1a 新素材合成、1b 素材変換・化学修飾、1c 無機素材・無機ナノファイバー・有機無機複合素材
- [2. 繊維・高分子材料の機能] 2a オプティクス・フォトンクス、2b エレクトロニクス、2c イオニクス、2d 機能膜の基礎と応用、2e 接着・界面/表面機能、2f 耐熱性・難燃性
- [3. 繊維・高分子材料の物理] 3a 結晶・非晶・高次構造、3b 繊維・フィルムの構造と物性、3c 複合材料の構造と物性
- [4. 成形・加工・紡糸] 4a ナノファイバー、4b 繊維・フィルム、4c 複合材料・多孔体
- [5. 染色・機能加工] 5a 染色、5b 機能加工
- [6. ソフトマテリアル] 6a 液晶、6b コロイド・ラテックス、6c ゲル・エラストマー、6d ブレンド・ミクロ相分離、6e その他ソフトマテリアル
- [7. 天然繊維・生体高分子] 7a 紙・パルプ、7b 天然材料・ナノファイバー、7c 生分解性材料、7d バイオポリマー、7e バイオマス
- [8. バイオ・メディカルマテリアル] 8a 生体材料・医用高分子材料
- [9. テキスタイルサイエンス] 9a 紡織・テキスタイル工学、9b 消費科学、9c 感性計測・評価
- [10. セルロースナノファイバー(特別セッション)]

5. 研究発表募集部門：次の 2 部門で発表を募集します。

部門 A [口頭発表：一般「A1」または若手「A2」] (討論 5 分を含んで発表時間 20 分)

部門 P [ポスター発表：一般「P1」または若手「P2」]

発表分野について、一般、若手いずれの場合も、部門番号(A1、A2、P1、P2)の後に上記 4 に示した細目セッション番号を連続させて、たとえば「A1-5d」、「P2-6b」のように選択してください。

なお、A2 ならびに P2 は優秀発表賞の審査対象部門で、応募資格は以下のとおりです。

A2：平成 28 年 6 月 1 日現在で博士課程学生以上～40 歳未満の学会員

P2：平成 28 年 6 月 1 日現在で博士号を持たない 30 歳未満の学会員

P2 の表彰は、2 日目のワインパーティーにて、A2 の受賞者は、会期後、学会ホームページ・学会誌で公表します。

6. 発表申込方法と締切期日

発表申込/予稿集原稿はいずれも学会 Web サイト (<http://www.fiber.or.jp>) 「繊維学会年次大会」のページで発表1件ごとに登録/投稿していただきます。メール・FAX による受付は行いません。受付開始～締切は、下記のとおりです。

発表申込：平成27.12.7(月)～平成28.1.29(金) 17時

事前参加登録：平成28.3.7(月)～平成28.5.11(水) 17時

予稿原稿投稿(一般)：平成28.3.7(月)～平成28.4.1(金) 17時

予稿原稿投稿(A2応募対象者)：平成28.3.7(月)～平成28.3.14(月) 17時

予稿集発行日：平成28.6.6(月)

(注意)締切直前は WEB が込み合いますので、早めの申込を推奨します。また、締切期限を過ぎますと自動的に WEB が閉鎖され、以後は受け付けられなくなります。発表申し込みに関する要望・問い合わせは、学会事務局へお願いします。

A2 応募対象者は、予稿原稿投稿期間が異なります。期間内に投稿していない場合、審査対象から除外致しますので、くれぐれもご注意ください。

7. 発表方法：

口頭発表：液晶プロジェクターが準備されています。パソコンは発表者自身をご持参ください。OHP、スライドを用いる場合は、あらかじめご連絡いただき、OHP ないしスライドプロジェクターは発表者自身をご持参ください。

ポスター：縦 180cm 横 120cm 高さ 190cm のポスターボードに掲示ください。掲示場所が不足する場合は別途ご案内します。

8. 参加登録料・懇親会費

参加登録料	繊維学会 正会員	維持・賛助会員	非会員	繊維学会 学生会員	学生非会員
事前登録料	10,000 円	10,000 円	18,000 円	3,000 円	6,000 円
当日登録料	12,000 円	12,000 円	20,000 円	5,000 円	8,000 円

懇親会費	繊維学会 正会員	維持・賛助会員	非会員	繊維学会 学生会員	学生非会員
事前登録料	7,000 円	7,000 円	7,000 円	3,000 円	3,000 円
当日登録料	8,000 円	8,000 円	8,000 円	4,000 円	4,000 円

9. その他：不測の事態(インフルエンザ流行等)が生じた場合は、WEB 上で告知することをご承知おきください。

ご不明の点は、学会事務局(TEL:03-3441-5627 FAX:03-3441-3260 E-mail:office@fiber.or.jp)にお問い合わせください。

平成 28 年度繊維学会年次大会実行委員会

実行委員長：英 謙二(信州大)

実行副委員長：乾 滋(信州大)、後藤康夫(信州大)、平田雄一(信州大)、山下友義(三菱レイヨン)

担当理事：戸木田雅利(東工大)

実行委員：石井大輔(東京大)、上原宏樹(群馬大)、大川浩作(信州大)、攪上将規(信州大)、小林元康(工学院大)、澤田敏樹(東工大)、敷中一洋(東農工大)、宝田 亘(東工大)、田中 学(首都大東京)、徳山孝子(神戸松蔭女子大)、富永洋一(東農工大)、長嶋直子(和洋女子大)、中野幸司(東農工大)、藤澤秀次(森林総研)、堀場洋輔(信州大)、本郷千鶴(神戸大)、松田靖弘(静岡大)、丸林弘典(東工大)、吉田裕安材(信州大) (五十音順)

学会事務局：野々村弘人、山本恵美

平成 27 年度繊維学会各賞授賞候補者募集

当学会では、功績賞、学会賞、技術賞、論文賞、奨励賞、紙・パルプ論文賞を設け、一般会員より広く推薦(応募)を求めています。平成 27 年度も例年通り、各賞の表彰を行いたく受賞候補者の推薦または応募を頂きますようお願い申し上げます。なお、論文賞は、一般公募をせず、論文賞選考委員によりその年の繊維学会誌に投稿されました報文から選考されます。

推薦(応募)書類は、下記の所属支部長または学会事務局へ期限までに提出をお願いします。

- ・推薦(応募)書類はホームページ <http://www.fiber.or.jp/> の学会賞に掲示してありますので、ダウンロードしてご利用ください。
- ・会員(維持会員、賛助会員を含む)は受賞候補者の資格を有し、自薦・他薦を問わない。
- ・推薦(応募)書類の提出期限は平成 27 年 12 月 25 日(金)迄です。
- ・歴代受賞者はホームページ <http://www.fiber.or.jp/> に掲載しています。

1. 繊維学会功績賞

- ① 対象：原則として、受賞年(平成 28 年)の 4 月 1 日において満 60 歳以上の本会会員で、多年にわたり繊維学会の発展に顕著な業績をあげた者、または繊維科学あるいは繊維工業の発展に優れた業績をあげた者。
- ② 表彰の件数：原則、5 件以内。
- ③ 表彰状および賞牌の授与。

2. 繊維学会賞

- ① 対象：原則として、受賞年(平成 28 年)の 4 月 1 日において満 51 歳未満の本会会員で、繊維科学について独創的で優秀な研究を行い、さらに研究の発展が期待される研究者。
- ② 表彰の件数：原則、2 件以内。
- ③ 表彰状、賞牌および副賞の授与。

3. 技術賞

- ① 対象：本会会員(維持・賛助会員を含む)で、繊維に関する技術について、優秀な研究、発明または開発を行い、繊維工業の発展に貢献した個人またはグループ。
- ② 表彰の件数：原則として、技術部門 3 件以内、市場部門 1 件以内。
- ③ 表彰状および賞牌の授与。

4. 論文賞

- ① 対象：本会会員(維持・賛助会員を含む)で、繊維科学および繊維技術に関し、その年の本会会誌(平成 27 年 1 月号～12 月号)に報文(論文)を発表した研究者。
- ② 表彰の件数：3 件以内。
- ③ 表彰状、賞牌および副賞の授与。

5. 奨励賞

- ① 対象：原則として、受賞年(平成 28 年)の 4 月 1 日において満 36 歳未満の本会会員で、繊維科学もしくは繊維技術について優秀な研究を行い、今後も継続して期待ができる新進気鋭の研究者。
- ② 表彰の件数：原則として、3 件以内。
- ③ 表彰状、賞牌および副賞授与。

6. 紙・パルプ論文賞(事前に事務局へお問い合わせください)

- ① 対象：原則として、受賞年(平成 28 年)の 4 月 1 日において満 40 歳未満の本会会員で、過去 5 年間に本会会誌に論文 2 編以上を発表した新進気鋭の研究者。
- ② 推薦(応募)書類は、学会事務局へ期限までに提出をお願いします。
- ③ 表彰の件数：原則として、1 件以内。
- ④ 表彰状、賞牌および副賞授与。

問合せ先

本部 一般社団法人 繊維学会事務局

〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208

TEL:03-3441-5627 FAX:03-3441-3260 E-mail:office@fiber.or.jp

支 部 名	支部長名	所 在 地	TEL & E-mail
東北・北海道支部	及川 英俊	〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平 2-1-1 東北大学多元物質科学研究所	022-217-6357 oikawah@tagen.tohoku.ac.jp
関 東 支 部	荻野 賢司	〒184-8588 東京都小金井市中町 2-24-16 東京農工大学大学院工学研究院 応用化学部門	042-388-7404 kogino@cc.tuat.ac.jp
東 海 支 部	猪股 克弘	〒466-8555 愛知県名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学大学院 しくみ領域 工学研究科	052-735-5274 inomata.katsuhiko@nitech.ac.jp
北 陸 支 部	久田 研次	〒910-8507 福井県福井市文京 3-9-1 福井大学大学院 工学研究科 繊維先端工学専攻	0776-27-8574 k-hisada@u-fukui.ac.jp
関 西 支 部	浦川 宏	〒606-8585 京都府京都市左京区松ヶ崎橋上町 1 京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科	075-724-7567 urakawa@kit.jp
西 部 支 部	田中 敬二	〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡 744 九州大学大学院工学研究院 応用化学部門	092-802-2878 k-tanaka@cstf.kyushu-u.ac.jp

繊維学会西部支部 講演会・見学会

主 催：繊維学会西部支部
日 時：平成 28 年 1 月 14 日(木)
9:00~12:00(講演会) 13:00~16:30(見学会)
場 所：(講演会)熊本大学 共用棟黒髪 1 1 階講義室
〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2-39-1
(見学会)くまもと有機薄膜技術高度化支援センター(Phoenixics)、同仁化学研究所

プログラム：

- 繊維若手研究者表彰式・受賞講演
- ・つる巻き重合によるアミロース-ポリペプチド
包接錯体の創製 (鹿児島大院理工)五反田龍矢
 - ・プラズマ処理ポリスチレンの界面状態と細胞
接着特性 (九大理工)松山瑠璃子
 - ・血清アルブミンによるポリエチレンイミン/
pDNA 複合体の血中安定性の向上
(九大理工)中村雄太
 - ・ミセルの塩濃度依存性 (北九大理工)松本紗葵子

講演会

- ・難燃剤を添加した多糖類由来活性炭の作製と
電気二重層キャパシタ用電極材料への応用
九州工業大学工学研究院 坪田敏樹
- ・N-置換アクリルアミド誘導体モノマーの機能と
用途
KJ ケミカルズ(株)事業本部開発研究部 増田英樹

見学会

- ・くまもと有機薄膜技術高度化支援センター(Phoenixics)、
同仁化学研究所

参加要領：E-mail または FAX でお申し込みください。

申込先：〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1
九州大学大学院農学研究院環境農学部門
繊維学会西部支部 庶務幹事 横田慎吾
TEL/FAX: 092-642-3000
E-mail: s-yokota@agr.kyushu-u.a

第 51 回 CPD(繊維技術)講演会

主 催：日本繊維技術士センター
共 催：日本技術士会近畿本部繊維部会
日本染色加工同業会
日 時：平成 28 年 1 月 22 日(金) 13:30~16:30
場 所：大阪産業創造館 5F 研修室 D
(大阪市中央区本町 1-4-5)
プログラム：(参加料)2,000 円(当日払い)
・「合成染料工業の歴史」 JTCC 会員 安部田貞治
・「自動車用繊維の技術動向」 JTCC 会員 斎藤磯雄
申込 & 問合せ先：日本繊維技術士センター(JTCC)本部事務
所
FAX: 06-6484-6575 E-mail: jtcc@nifty.com

平成 27 年度 「アパレル製品の基礎知識」講座

主 催：(一社)日本繊維技術士センター(JTCC)
日 時：平成 28 年 1 月 23 日(土)、1 月 30 日(土)の 2 日間
場 所：大阪産業創造館 5F 研修室 A(23 日)、
5F 研修室 E(30 日)
大阪市中央区本町 1-4-5 TEL: 06-6264-9888

プログラム：

1 月 23 日(土)

- | | |
|---------------------|------|
| I. アパレル製品の商品化プロセス | 相場成男 |
| II. 縫製仕様書 | 米田圭子 |
| III. 縫製工程の概要(1)、(2) | 米田圭子 |
| IV. 代表的な縫製欠点 | 米田圭子 |
| V. 繊維製品の二次加工における注意点 | 清嶋展弘 |
| VI. 表示などの関連法規 | 清嶋展弘 |

1 月 30 日(土)

- | | |
|--------------------|------|
| VII. 衣服材料の試験と検査 | 金田哲郎 |
| VIII. アパレル製品の試験と検査 | 金田哲郎 |
| IX. 中国関連情報 | 上田良行 |
| X. 衣料品の苦情事例解析実習 | 講師全員 |

申込 & 問合せ先：(一社)日本繊維技術士センター(JTCC)
大阪市中央区本町備後町 3-4-9
輸出繊維会館 6 階
TEL: 06-6484-6506 FAX: 06-6484-6575
E-mail: jtcc@nifty.com

第 221 回ゴム技術シンポジウム トライボロジーのフロンティア I

主 催：日本ゴム協会研究部会 トライボロジー研究分科会
日 時：平成 28 年 1 月 20 日(水)
場 所：大阪科学技術センター 404 号室
(大阪市西区靱本町 1-8-4)
プログラム：詳細はホームページ <http://www.srij.or.jp/>
/を参照ください。

第 222 回ゴム技術シンポジウム 劣化メカニズム解析と長寿命化のための手法

主 催：日本ゴム協会研究部会 環境劣化研究分科会
日 時：平成 28 年 2 月 3 日(水)
場 所：東京電業会館 地下ホール
(東京都港区元赤坂 1-7-8)
プログラム：詳細はホームページ <http://www.srij.or.jp/>
を参照ください。

第223回ゴム技術シンポジウム ゴムの衛生問題における基礎と応用

主 催：日本ゴム協会研究部会 衛生問題研究分科会
日 時：平成28年2月26日(金)
場 所：東部ビル 5階 AB(東京都港区元赤坂1-5-26)
プログラム：詳細はホームページ <http://www.srij.or.jp/>
を参照ください。
申込＆問合せ先：(一社)日本ゴム協会 ゴム技術シンポジ
ウム係
TEL:03-3401-2957 FAX:03-3401-4143
E-mail: srij@srij.or.jp

色材マテリアル講座 — バイオベースマテリアルの明日はどっちだ —

主 催：色材協会 関西支部
日 時：平成28年2月17日(水)
場 所：ドーンセンター特別会議室
(大阪市中央区大手前1-3-49)
プログラム：現在市場展開しているバイオベースマテリア
ルの紹介と今後の展開に向けた研究事例の紹
介や提言、課題についての講演会(全5講)
講師 京都工芸繊維大学 名誉教授 木村良晴 先生
産業技術総合研究所 主任研究員 中山敦好 先
生ほか
申込＆問合せ先：(一社)色材協会 関西支部
(大阪市北区東天満1-9-10 大阪塗料ビル2階)
TEL:06-6356-0700 E-mail: kansai@jscm.or.jp
<http://www.shikizai.org/>

第20回省エネルギーセミナー 「2030年温室効果ガス削減目標にむけて」

主 催：紙パルプ技術協会(JAPPAN TAPPI)
日 時：平成28年2月18日(木)、19日(金)
場 所：タワーホール船堀 小ホール
(東京都江戸川区船堀4-1-1)
プログラム：特別講演(3件)、サプライヤー講演(4件)、
製紙会社事例発表(8件)
詳細はホームページ <http://www.japantappi.org> を
参照ください。
申込＆問合せ先：紙パルプ技術協会(東京都中央区銀座3-
9-11 紙パルプ会館11階)
TEL:03-3248-4841 担当：佐治、高橋

第152回講演会 建材用高分子材料の開発動向と最新技術

主 催：プラスチック成形加工学会
日 時：平成28年2月12日(金)
場 所：東京都立産業技術研究センター本部 東京イノ
ベーションハブ
(東京都江東区青梅2-4-10 TEL:03-5530-2111)
プログラム：講演5講、東京都立技術研究センター音響施
設の見学
申込＆問合せ先：(一社)プラスチック成形加工学会 事務局
東京都品川区大崎5-8-5
グリーンプラザ五反田第2 205
TEL:03-5436-3822 FAX:03-3779-9698

第12回紙メディアシンポジウム 「紙メディアの本質と価値と進化」

主 催：(一社)日本印刷学会 紙メディア研究委員会
日 時：平成28年2月10日(水)
場 所：日本印刷会館2階会議室
(東京都中央区新富1-16-8)
プログラム：講演(7講)詳細は <http://www.jspst.org/> を
参照ください。
申込＆問合せ先：(一社)日本印刷学会
東京都中央区新富1-16-8 日本印刷会館内
TEL:03-3551-1808 E-mail: nijspst-h@jspst.org

信州大学学術研究院繊維学系 助教(特定雇用)の公募

職名・人員 助教(特定雇用) 1名
主担当 繊維学部応用生物科学系 生物機能
科学課程
応募資格 博士号を有すること
採用予定日 平成28年3月1日以降出来るだけ早い時期
提出書類 ①履歴書(写真付)、②業績調書、③業績サマ
リー、④主要論文のコピー
提出書類は下記ホームページからダウンロードして作成してください。
<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/recruit/2015/11/69465.html>
提出書類は紙とCD等による電子ファイルの
両方を提出する
応募締切 平成28年1月22日(金)必着
問合せ先 信州大学繊維学部 応用生物科学系
生物機能科学課程課程長 保地眞一
TEL:0268-21-5350
E-mail: shochi@shinshu-u.ac.jp